

部活動などの活躍

《バレーボール部》

荒川区春季大会
準優勝



新しく赴任された
先生からのメッセージ！



保健体育（金曜日）
特別支援教育支援員
（月～木曜日）

立山 昂亮先生

はじめまして。保健体育科の
立山 昂亮(たちやま こうすけ)です。
皆さんと一緒に楽しく授業を
していこうと思います。
よろしくお願いします。



運動会実行委員会の皆さん

2週間にわたり、運動会の
学年練習の準備・片付けから、
当日は用具・招集・誘導、審判・
監察、得点・掲示の係に分かれ、
運動会をスムーズに進めてくれ
ました。また、放送委員会や健康委
員会の皆さんも放送・進行、救護
として活躍しました。皆さん、本
当にお疲れ様でした。

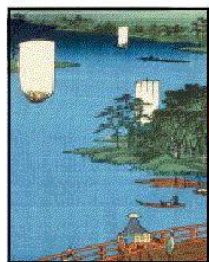
南千住マイスターのコーナー

この繁栄した川越夜船でしたが水深が浅すぎて蒸気船の導入は出来ず、輸送力の大きな鉄道が開通して衰退していきました。さらに荒川の大改修によって荒川放水路が通水し、昭和6年に通船が禁止となりました。松尾芭蕉が深川から千住で上陸したり、將軍様は鷹狩に日本橋川を下って隅田川を上り南千住の砂尾にあった専用棧橋から上がった等のことは千住が水運の一大拠点であったことをものごとがたっています。

南千住の交通と産業 その2

『川越夜船と千住宿』

江戸時代、千住は荒川水運の中心の湊(みなと)でした。関東西部の物産は、多くが河川水運によって江戸へ運ばれていました。その中で川越夜船がよく知られていました。この名前は川越城下を夕方出て一晩かかって翌日早朝に千住へ着いたことによります。またその船頭小唄が千住宿の花街で広められ、有名にもなりました。江戸と川越を結ぶ水運として、川は傾斜を緩やかに、流れは遅く、川幅は広めに蛇行を多く改修され、九十九曲がり三十里といわれました。船問屋は主に川越にあり、途中各地に河岸がありました。入間、多摩さらには山梨などの物産が、各地の河岸で積み込まれ、江戸へ送られたといえます。



墨書の千住大橋の絵にも描かれた川越夜船



学校だより
令和三年5月
第116号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

取り戻そう、あいさつの南二中

校長 松田 公好

少し残念な話を耳にすることがありました。「このところ南二中の生徒はあいさつがしっかりできなくなっているのでは？」といった内容です。

確かに私が知る数年前の南二中に比べ、あいさつの声を聞くことが少し減っているように感じます。そこで今回はあいさつについて考えてみたいと思います。

「言葉は心を育て、人をつくる」と言われます。人は言葉の意味を知ることにより、その言葉にふさわしい態度をとるようになるということです。挨拶の語源は仏教語の「一挨拶(いちあいさつ)」にあると言われています。「挨拶」という文字には「互いに心を開いて近づく」という意味があり、「拶」には「すり寄る」という意味があります。人と人が出会い、お互いに心を開いてすり寄ることが「挨拶」なのです。お互いに心を開いてすり寄る、つまり挨拶は相手と良い関係を築くためのものだということです。

JRC委員による朝のあいさつ運動

実は挨拶をすることは「自分是你の敵ではありません」というメッセージを伝えることにもなるそうです。これは昨年度ご紹介した「笑顔の効果」にもあったことです。だから笑顔で挨拶を交わすだけでとても安心感が得られて、相手に親しみを感じるのですね。

ここで代表的な挨拶の意味を確認してみましょう。

「おはようございます」…お早い時間からご苦労さまです。
「こんにちは」…今日(こんにち)はご機嫌いかがですか？
「さようなら」…それなら(左様なら)ば私はこれで失礼します。

意味が分かるとちょっとお辞儀して丁寧な挨拶をしようかなって思いませんか？言葉の意味を知り、ふさわしい態度や表情でする挨拶が良い挨拶なのだと思います。また、挨拶は「相手の存在を認める」という大きな意味をもっているそうです。挨拶をすることで相手がそこにいることを認めることになるということです。裏を返せば、すれ違っても挨拶をしなければその時の相手の存在を認めていないことになってしまいます。もしかするとこれこそ挨拶が大切だと言われる最も大きな理由かもしれません。挨拶をしたけど反応がなかった時、多くの人が不快感を抱くのは自分の存在が認められなかったと感じるからかもしれません。よく考えるとそれはとても相手に対して失礼なことです。

私は昨年度から可能な限り毎朝7:55～8:14に校門に立って、登校してくる生徒と朝の挨拶を交わしています。もちろんその日の学校生活を気持ちよくスタートさせるため、できる限り笑顔で生徒たちを迎えたいと思って続けています。

そして最近、前述のことを知ってからは、できるだけ一人ひとりの目を見て、一人ひとりに「君の存在を認めているよ」という気持ちを込めて挨拶するように心がけています。

南二中がまた「挨拶の南二中」と言ってもらえるような、素敵な挨拶が飛び交う学校になることを期待しながら今後も挨拶に立ち続けたいと思います。



第33回運動会

5月24日(月)、前週に雨のため延期された南千住第二中学校第33回運動会が行われました。この日を目指して練習を重ね、クラスや選抜チームで作戦を立てて、楽しみに待った運動会の開催に皆の笑顔が溢れました。今年は感染症予防に配慮して、午前中のみ10種目で総合優勝を目指す“赤、青、黄、緑”の色別対抗戦と、学年優勝を目指すクラス対抗戦で、全校生徒一丸となって熱い戦いを繰り広げました。

実行委員会委員長〇〇〇〇さん(3-3)の号令ではじまった入場行進では、校旗を高くかざして持つ生徒会長の〇〇〇〇さん(3-4)を先頭に、生徒会役員、そして各学年を代表して実行委員が赤組、青組、黄組、緑組の順に隊形を組み入場しました。

開会式では、生徒会役員〇〇〇〇さん(3-1)による「これまでの成果を発揮し、思い出に残る運動会にしましょう」という開会のことばからはじまりました。つづいて、各色の応援旗を持った実行委員が実行委員長の〇〇〇〇さんと副委員長の〇〇〇〇さん(3-4)の周りを囲み、2人で「一人ひとりのベストを尽くし、正々堂々と最後まで戦うことを誓います」と力強く堂々とした選手宣誓を行いました。最初の演技はラジオ体操。〇〇さんが前に立ち、模範演技を行う中、全校生徒の息が合った、素晴らしい演技になりました。

競技は、1年生の短距離走からはじまり、2年全員リレー、1年学年種目「四輪ピック」と続きました。色別の4つの輪をクラス全員でくぐっていく競技は、早くくぐるスピードと4つの輪を引っ張って自分のクラスの陣地に近い場所に運ぶ力業のどちらを使うかで勝敗が決まり、見どころが満載で、会場も拍手と声援で大いに盛り上がりました。次の3年全員リレーでは、中学3年間で培われた固い絆を感じさせるバトンリレーが感動的でした。

2年の学年種目は「パイプでGo！」ヘルメットを被り、ピコピコハンマーをバトンにして、3人1組でパイプを足ではさんで運ぶというもの。会場にはなぜかドリフターズの往年のコント曲が流れ、笑い声にあふれる楽しい競技となりました。つづいて、1年全員リレー、3年学年種目が行われました。3年生にとっては、中学校生活最後となる学年種目は「ソーシャルディスタンスむかで」。

3人1組になり、間を開けて足だけをロープで結んでタスキをつなぎました。一般的なむかで競争より、バランスをとるのが難しく、スピードも思うようには出ません。3年生は昼休みの時間などを使って、何度も練習しこの日を迎えました。転んでも立ち上がり笑顔で進む姿は3年間の日々と重なり、ゴールでは健闘を互いにたたえ合う涙あふれる姿も見られました。

残すところは最後の各学年の学級対抗リレーとなったこの時点で、赤組と緑組が僅差で首位争い。他の色も大逆転を狙える位置。1年生から始まったリレーでは、選手の名前が放送で呼ばれるたびに拍手と各クラスが趣向を凝らした応援で盛り上がりました。選手たちの表情は気迫に溢れていました。競技では、鮮やかなバトンパスのたびに、応援も白熱していきました。3年生のレースで1番にゴールを切ったのは赤組でした。最後まで全力でゴールを駆け抜けた選手たちに会場からは惜しめない拍手が送られました。

全競技を終えて、閉会式で実行委員〇〇〇〇さん(3-3)から結果発表が行われました。色別対抗の部は、競技の後半で大奮闘した赤組が優勝、学年対抗の部では、3年生3組、2年生1組、1年生1組がそれぞれ優勝をおさめました。

運動会に際しては、保護者、地域の皆さまのご理解・協力ありがとうございました。

各クラス色分け

赤組・1年2組、2年1組、3年3組
青組・1年1組、2年2組、3年2組
黄組・1年3組、2年3組、3年1組
緑組・1年4組、2年4組、3年4組

